

カンボジアの日本語教室運営への支援活動

横浜ベイロータリークラブ

国際奉仕委員長 野村 昌弘

masahiro-nomura@uyeno-group.co.jp

クラブ事務所：TEL 045-628-4850



当クラブの国際奉仕活動として、2003年から、カンボジアのアンコールワット遺跡があるシェムリアップ市の日本語教室を支援している。この教室は、アンコールワット日本文化交流会という組織が母体として活動しているもので、同組織は2007年に東京都の特定非営利活動法人（NPO）の認定を受けている。

当教室は、ポルポト時代の内戦が終結して間もない1995年に初めて開かれたもので、いままでに2000人の生徒を教えている。当教室からは、毎年在カンボジア日本大使館が主催する日本語スピーチコンテストにおいて、常に入賞者を出すまでとなった。

支援活動のリーダーである鬼さんは、月曜から金曜まで、朝6時から夜9時まで日本語を教える傍ら、自らも日本からの支援物資を近隣農村に配布するなどの支援活動を行っている。

当クラブからは定期的に会員が訪問し、現地を視察し、支援を続けている。(写真) 場所が手狭になったため、支援をもとに、2007年ごろから数年かけて、新しい教室施設を建設している。(写真)

シェムリアップでは観光以外には主な産業がなく、日本語を学び、観光関係の仕事に就くことで生計を立てている人が多い。カンボジアでは識字率が低いが、日本語教室で日本語を学ぶと同時に、母国語のクメール語を習得する児童も多く、教育レベル向上に貢献している。

当クラブでは、毎年、図書、文房具、パソコン、テレビなどを定期的に寄贈すると同時に、会員からの有志の寄付も行っている。2004年、2005年には、ロータリー財団地区補助金の給付を受け、支援を行った。